

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 235 号	氏名	平尾 朋仁
学位審査委員	主査 吉浦 孝一郎 副査 澄川 耕二 副査 平野 明喜		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は、Dehydroepiandrosterone (DHEA) が細胞におよぼす放射線感受性制御機構を明らかにしようとしたものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 神経膠腫 H4 細胞株を用いて、DHEA を含む培地上でγ線 3 Gy (グレイ) 照射後の apoptosis 細胞比、細胞周期の解析を行い、同時に細胞内の Akt、PPA2、GSH、GSSG の定量をおこなっており、その研究手法は妥当である。</p> <p>3. 解析・考察の評価 DHEA 存在下では、γ線照射時に細胞内のレドックス (抗酸化) 状態が維持され、その結果 PP2A の活性化誘導と Akt のリン酸化抑制により放射線感受性増強効果、すなわち apoptosis 細胞数の増加、G2/M 停止細胞の増加、生存細胞数の減少 (死細胞の増加) が見られることが証明された。結果の解析および考察は、妥当である。</p> <p>以上のように本論文は DHEA の細胞内酸化状態維持に関する研究および放射線照射の影響に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			